

早稲田大学先端社会科学研究所・社会科学学会共催 シンポジウム

中国の大国化とアジア

—学際的検討—

2019年2月27日(水) 14:00～17:30

📍 早稲田大学 大隈タワー(26号館) B1F **多目的講義室**

プログラム

13:30～ 開場
14:00～14:10 趣旨説明 (早田宰)

14:10～16:00 第1部 中国の大国化とアジア:学際的検討

報告1 大国化する中国をどう捉えるのかー日本の「中国研究」を考える (劉傑)
報告2 「米中対峙」時代の ASEAN (山田満)
報告3 中国といかに向き合うかー多国籍企業の視点 (長谷川信次)
報告4 大国化した中国の発展モデルが持続するか (トラン ヴァントゥ)
質疑応答

16:15～17:30 第2部 専門の立場からアジアを語る

登壇者: 赤尾健一、奥迫元、苅込俊二、黒川哲志、鈴木規子、早田宰
研究代表者: トラン ヴァントゥ

参加無料

参加資格: 学生、教職員、一般

中国が経済改革・対外開放政策を決定した1978年12月から丁度40年。その過程において 中国は急速な経済発展を遂げ、**世界第2位の大国**になった。

中国モデル、北京コンセンサスなどの表現でその発展経験が世界の注目を集めた一方、東シナ海・南シナ海への軍事進出、一帯一路、アジアインフラ投資銀行(AIIB)、中国製造 2025 などでアジア諸国へのインパクトを強めている。

また、進行中の**米中経済摩擦**も**アジア**に影響を与えている。

第1部では、それらの問題をどう捉えるかを学際的に論じる。

第2部では、アジアをテーマにさまざまな専門の立場から、社会科学の諸問題・諸課題を論じる。